

平成28年度取組状況

ものづくり工学科 電子情報工学コース

准教授

黒木 啓之

取組状況	
教育	<p>1. コンピュータネットワークIにおいて、近年学生が不得意で点数が取れていない実機操作教育の改善 →これまでに作成していたものにさらに図を加えてわかりやすくして理解の向上に努めただけでなく、「発展問題」を追加し、成績の良い学生もチャレンジできるよう工夫</p> <p>2. 専攻科で試行されているエンジニアリングデザインについて、多少の支援をさせていただくと共に、昨年度うまくいかなかった点を改善 →夏季休業前に講習、さらに企業とのインタビューも行き、EDを取り組む時間を大幅に確保。また物品の購入なども速やかに行い、滞りなく実施</p> <p>3. 新しく受け入れた専攻科1年の学生の研究およびゼミナールの内容を開拓 →新しい言語や数値計算法を学生に取り組ませたことにより、これまで得られなかった結果を得た。ゼミナールは他の教員にお願いし従来とは異なった知見を持たせた。</p>
研究	<p>【国際会議】 [1] T. Kuroki, K. Fukunaga, T. Shibasaki, T. Kinoshita, "Rigorous Calculation of Scattered Field by Conductive Disk using Multiple Precision Arithmetic -Calculation Precision and Parameter Selection-", 2016 URSI Asia-Pacific Radio Science Conference (URSI AP-RASC2016), S-B12c-2, 4pages,2016.8.</p> <p>【学会発表等】 [1] 黒岩宙斗,黒木啓之,柴崎年彦,木下照弘, 水平微小ダイポール波源からの完全導体円板による散乱界の数値計算—波源から円板までの距離が短い場合—,第22回電子情報通信学会東京支部学生会研究発表会, p.94,2017,3. [2] 大野佳樹,三浦慎一郎,黒木啓之,メニーコアプロセッサを用いた粒子法シミュレーションの高速化, p.161, 第22回電子情報通信学会東京支部学生会研究発表会,2017,3. [3] 上原京司,黒木啓之, 時空間画像処理を用いたスマートフォン上でのノイズ処理, p.158, 第22回電子情報通信学会東京支部学生会研究発表会,2017,3. [4] 黒木啓之,柴崎年彦,木下照弘,水平微小ダイポールに対する完全導体円板による散乱界の精密計算～展開係数計算の収束特性～, 第45回電磁界理論シンポジウム, 電子情報通信学会技術研究報告,pp.153-156,2016.11. [5] 木下照弘,黒木啓之,柴崎年彦, 導体円板近傍に置かれた電氣的微小ダイポール波源からの放射界, 2016年7月電磁界理論研究会(光・電波ワークショップ), EMT2016-22, pp.89-92, 2016.7.</p> <p>【講演】 [1] 黒木啓之, 地域企業とのPBL, 実践的ソフトウェア教育コンソーシアムFDキャンプ,2016.9.</p>
社会貢献	<p>1. 電気学会,「電磁界理論技術委員会」1号委員 2. OPC「RaspberryPiを使ったLINUXによるプログラム・ネットワーク入門」 3. 八潮学園中学校ものづくり(ロボット)教育支援 4. OPC「小中学生のための楽しいロボット講座」 5. 大田区産業振興協会共催大田区発明クラブ自律型ロボット教室教材提供・開催協力 6. ロボカップ日本委員会ジュニアサッカー技術委員 7. ロボカップジュニア関東ブロック運営委員会渉外担当</p>